



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

第 205 号

医療崩壊を防ぎ事業所を継続させる決意を新たに

ファルマ 一ツ谷薬局 薬局長 西沢 光

2月26日(木)〜2月28日(土)の3日間、岩手県で行われた全日本民主医療機関連合会第47期定期総会に参加しました。今年度、青森県では災害級の豪雪被害があり、岩手県でも雪が積もっていると想定していましたが、全く降っておらず同じ北東北でも太平洋側との気候の違いにまず驚かされ

過去・現在そして未来へ」という題で全国でも女性初となる岩手県民医連会長を務めた小野寺けい子氏を講師に記念講演が行われました。岩手県は進行する高齢化、盛岡市周辺に岩手県人口2/3が集中するなど偏在する人口分布もあり、人口密度は東京都の1/83(人/km²)となっている状態です。北海道に次ぐ全国2位の広大な土地、山間部の標高差や沿岸部に吹き付けるやませなど複雑で過酷な自然環境のなか、盛岡医療生協誕生の歩みからお話は始まり、「差別なく受診できる場で、生活に寄り添った医療を提供したい」という思いが始まった盛岡民主診療所が老人健診、家庭訪問など繰り返し



定期総会の会場全体の様子
定期総会では、岩手県民医連の歩み、2月8日に行われた衆議院議員選挙が終了してからの各政策の方針転換に翻弄されている地域も多くあったとのこと。1日目の夕方には「岩手民医連の歩み

して組合員を増やしていく、2006年に新川久保病院が開設されました。地域における医療介護活動の発展を願って稼働していた中、2011年に東日本大震災が発生。被災地への支援を行いつつ、長期間にわたり被災者医療費減免制度を県と協力して行ってきました。これらの岩手県の地域に根差した活動は、昭和30年代、乳児死亡率が全国最低だった沢内村で深沢晟雄氏が「乳児死亡率をゼロ



講師の小野寺けい子氏が講演をしている様子
に「目標を掲げた。地域医療を守り、いのちと平和を維持することを訴え続けるためには、医療崩壊を防ぎ事業所を継続させるさらなる工夫や対策が全国的な課題であり、急務であると感じました。私自身も民医連職員の一人として地域医療の維持・発展につながるような実践を積み重ねていきたいと思います。」

私を感じている以上に、全国での社会問題や地域の課題が多

ふたたび被爆者をつくらない世界を

本部 課長補佐 工藤 由希子



2月28日(土)グランシップ(静岡市)を会場に行われた2026年3・1ピキニデー日本原水協

印象に残っている言葉は、日本原水爆被害者団体協議会の児玉三智子事務局次長の「被爆者は命絶つまで被爆者」という言葉です。被爆者である児玉さんは、自分だけが生き残った罪悪感に苦しみ、悔しさ、寂しさをずっと抱えながら生きていらつしやいます。その中で、高市政権の非核三原則を見直そうとする動きは絶対に許

せません。海外代表からも、「なぜ日本が核兵器を持つとうとしているのかわからない、日本は被爆者の苦しみを理解していない」と発言がありました。戦争は想像上のものではありません。ふたたび被爆者をつくらないために、唯一の被爆国である日本が率先して世界の平和を訴えるべきです。

写真紹介

患者様のお話を聞く会

2月12日(木)ファルマ弘前薬局を会場に各職場をZOOMで繋ぎ、利用者委員会主催の患者様のお話を聞く会を開催しました。講師に健生病院サポートセンターの工藤聡子センター長を迎え、「社会的困難事例を考える」をテーマにお話いただきました。



講師の工藤聡子センター長の体験談を聴き学びました。

医学対大運動

弘前大学一般入試医学対大運動の取り組みとして、2月25日(水)に宣伝物配布、26日(木)に対話アンケートが行われ、ファルマから3名が参加しました。民医連の仲間づくりと医師確保のためにこれからも活動していきます。



チラシ配布頑張りました!



定期総会に参加した西沢薬局長

お年玉
企画

「新春うまうまダービー！」

結果
発表!!

正解者はファルマ弘前薬局の西沢菜夏さんとファルマ弘前薬局の下山栄順さんです。おめでとうございます!!

第1問「きのこのたけのご論争 (1番人気)」は、大方の予想通りたけのこの里でした。48名 (79%)の方が正解しました。

第2問「ポテトチップスの味 (2番人気)」は、うすしおと堅あげがまさかの同率で1番人気となったため、どちらも正解とさせていただきます。にもかかわらず2番人気にのりしおやコンソメを選ぶ方が多かったため正解者が12名 (20%)に一気に減ってしまいました。

第3問「日清カップ麺の味 (3番人気)」では、3番人気にチリトマトを予想する方が少なかったこともあり正解者は2名まで減りました。

当初は正解者が多数出ることを予想していましたが、意外な結果 (正解者2名) に終わりました。

見事正解されたお二人には、今回出題された商品をすべて詰め合わせた豪華セットをプレゼントいたしました。ご応募いただいた皆様、ありがとうございました。



ファルマイズム委員会事務局よりお渡しさせていただきました



お渡しした賞品はこちら!

ルマ弘前薬局で働いてい
ます丹代暁子です。医療



2月24日(火)よりファ
ルマ弘前薬局で働いてい
ます丹代暁子です。医療

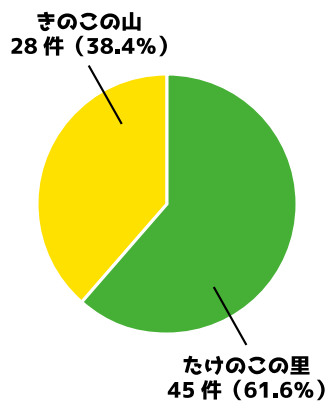
新入職員紹介

の仕事を興味をもった
は母の知人が以前医療
務の仕事をしていた、そ
こから調剤の仕事をし
ました。調剤薬局の仕
事は未経験ですが少しづ
つ仕事を覚えて皆さんの
仕事に覚えるよう頑張
りたいです。休日は映画
ドラマや映画を見て気
分転換しています。

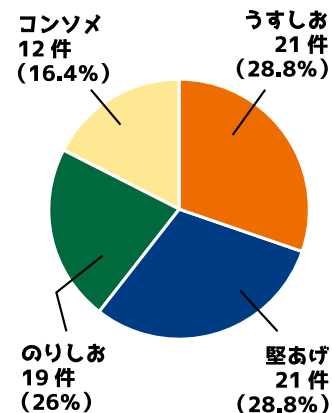


【職員統計アンケート結果】

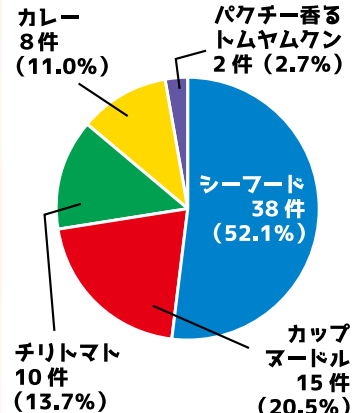
①きのこのたけのご論争



②ポテトチップスの味



③日清カップ麺の味



写真紹介

2/8 津軽保健生活協同組合 五所川原支部

津軽保健生協五所川原支部主催の出前講座がせせらぎ温泉で開催され、ファルマ 一ツ谷薬局の安田薬剤師が「処方せん医薬品とOTC医薬品の違い」をテーマに話しました。薬の正しい使い方や市販薬との違い、自己判断による併用の危険性などを解説しました。



42名の参加者に話す安田薬剤師(中央奥)

2/10 津軽保健生活協同組合 河西支部

桜温泉を会場に津軽保健生協河西支部主催の出前講座が開催されました。講師は藤代薬局の水木薬剤師で、OTC医薬品の基礎知識や医療用医薬品との違い、制度の変化などを分かりやすく解説し、地域の皆さんと薬の適正使用について学ぶ機会となりました。



わかりやすく丁寧に伝えました

2/27 津軽みらい農協 常盤支店

津軽みらい農協常盤支店で出前講座が開催され、ファルマ浪岡薬局の雪田主任補佐が薬と食べ物、市販薬、サプリメントの飲み合わせについて具体例を交えて解説しました。副作用や効果低下を防ぐためのお薬手帳の活用や薬剤師への相談の大切さをお伝えしました。



具体例を交えて話をする雪田主任補佐

わたしの好きな猫たち

本部 課長補佐 工藤 由希子

私の家には愛猫のゴエモンとゴンがいます。14歳のゴエモンは私と一緒に岩手県から青森県にやってきました。イケメンで少し?太っていて、とても優しい猫です。私が落ち込んでいるときはいつもそばにいてくれます。"この子のためなら頑張れる!"といつも元気をもらっています。もう一匹は5歳のやんちゃな子です。甘え上手であざとさがとても可愛く、すべてを許してしまいます。どちらも私の大切な猫ちゃんです。2匹は居場所の取り合いで喧嘩するときもありますが、しばらくすると仲良くくっついて寝ているので、それもまた私の癒しです。

これからも大好きな猫ちゃんとの時間を大切に過ごしていきます。



愛する猫たち(左がゴン、右がゴエモン)

今回から新シリーズがスタートしました!!「わたしの好きな〇〇」、是非皆さんの「好き」を教えてください!